

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 5 日

Table with columns for 事務事業名, 農業経営支援事業, 事業区分, 担当, 政策体系, 総合計画の施策名, 政策名, 施策名, 手段名, 予算科目, 法令根拠.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像), ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and various indicators (活動指標, 対象指標, 成果指標) with data for 28-32 years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (事業費) for 28, 29, and 30 years, categorized by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs.

Table showing internal costs (事業費の内訳) for 29 and 30 years, including 19 負担金補助及び交付金 and 合計 values.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 30, 31, and 32 years, with a note to enter content by year and a list of main activities.

事務事業名	農業経営支援事業	事務事業No.	40101000991	所属課	農林課
-------	----------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 ・近年の異常気象によりパイプハウスの倒壊が相次ぎましたが、パイプハウスの復旧には農業生産者の負担が大きく、農業者の農業経営の安定を図るため平成28年度から開始した。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 ・行政による助成事業が減少しているため、農業経営支援をしてほしい。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	・農業資材購入費の支援をすることにより、農業生産の維持・強化を図り、農業者の農業経営の安定につながる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	・農業資材購入費の支援をすることにより、市の基幹産業である農業生産の維持・強化を図り、農業者の農業経営の安定につながるため妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	・当事業の交付要項により定められている対象・意図であるため適切である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	・事業が廃止された場合、農業経営が不安定になる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	・必要最低限で実施している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	・幅広い農家を対象としているため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果

①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)
 ・今年度からの新規事業であり、多数の事業申請があり支援を行った。次年度以降も農業者の要望に沿った支援をできるようにする。

(3) 今後の事業の方向性

<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 改革改善を行う	<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善
			<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 連携ができる

(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持	○		
	低下			

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

(6) 事務事業優先度評価結果

成果優先度評価結果	
コスト削減優先度評価結果	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認